

当病棟でのクリニカルパス運用の現状

市立宇和島病院
小櫻 のぞみ

- 宇和島市
人口 72,113人 (2021年6月)
- 市立宇和島病院
病床数 435床
診療科 35科
地域がん診療連携拠点病院
災害拠点病院
- クリニカルパス
ベンダー 富士通
125種類 (164運用中)



病棟概要

- ・ 外科：17床
- ・ 整形外科：25床
- ・ 形成外科・皮膚科：7床
- ・ 循環器内科：1床

計50床

看護要員

- ・ 看護師 25名
- ・ 病棟クーク 1名
- ・ 看護助手 3名

固定チームナーシング

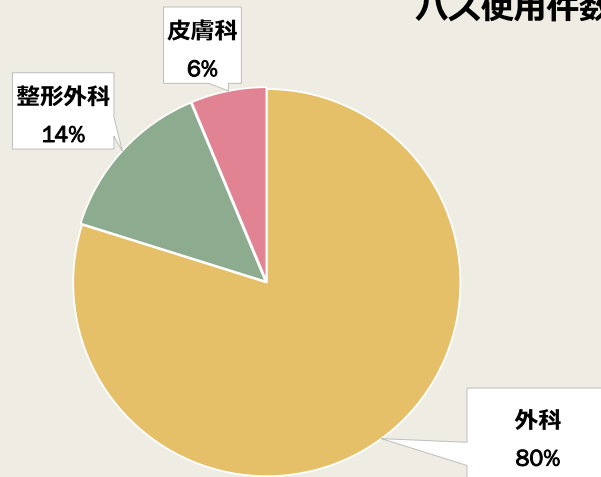
3チーム編成



当病棟でのクリニカルパス使用状況 (2020年度：476件)

- 外科：380件
 - ・ 肛門手術：28件・LSC：72件 (緊急含む)・虫垂切除手術：14件 (全麻含む)
 - ・ 内視鏡的胃瘻造設術：9件・成人鼠経ヘルニア根治術：84件
 - ・ 乳房/センチネルリンパ節：1件
 - ・ 化学療法：172件
- 整形外科：66件
 - ・ 抜釘術 (上肢・下肢)：10件
 - ・ その他：56件 (頸椎疾患・腰椎固定・腰椎後方固定・THA・TKA
大腿骨人工骨頭挿入・大腿骨近位部骨折骨接合術)
- 皮膚科：30件
 - ・ 帯状疱疹：29件・広汎性円形脱毛症：1件

パス使用件数内訳



当病棟でのクリニカルパス監査方法

クリニカルパス委員が主体で実施

- 毎月各チームへパス使用患者の監査を依頼
- 各チームで監査後、入力漏れがあれば当日の勤務者へ入力依頼
- すべての入力確認後、担当者がクリニカルパス委員へ提出
- クリニカルパス委員が再度入力漏れがないか確認



【未入力発生の要因】

- パスに対する認識が低く、各勤パスカレンダーを開き確認が出来ていない。
- 2交代勤務になり準夜帯での評価に対する意識が低くなった。
- 退院日にDrが先に評価をしてしまうとパス適応の表示が出ないため忘れてしまう。

バリエーション分析

- クリニカルパス委員会にて2回/年
(2020年9月・2021年2月) 実施
・ 1~2事例検討し委員会にて報告



- バリエーション分析の結果を踏まえてパスの改訂検討
・ 分析結果にて各科医師へパス改訂の相談
・ **必要時パス改訂実施**

事例：带状疱疹 3回/日

■ 2019年8月～2020年1月

- ・パス使用件数：6件
- ・適応日数：8日/平均在院日数：8日（予定通り：6件）
- ・アウトカムバリエーションはなし
- ・オールバリエーション

バリエーション内容	件数
ヘパリンロック	6件
リンデロン軟膏	1件
ファモチジン内服	1件
ロキソプロフェン・レバミピド内服	1件
眼科診	1件

■ 結果

抗ウイルス薬点滴時ヘパリンロックが主流でありすべてオールバリエーションとなった。

皮膚科Drと相談し带状疱疹1回/日・2回/日・3回/日のパス全て維持点滴を中止しヘパリンロック追加へパス改訂した。

2020年度 带状疱疹

■ パス使用件数：29件

- ・適応日数：8日/平均在院日数：8.3日

		件数
予定通り	0日	21件
遅く達成	1日	5件
遅く達成	4日	1件
中止		2件

- ・中止2件：治療困難となり中止

認知症悪化：1件

せん妄症状出現：1件

■ アウトカムバリエーションなし

■ オールバリエーション

バリエーション内容	件数
レボフロキサシン点眼液	1件
ガチフロ点眼液	1件
眼科診	1件
アピドラ注	1件
リンデロン錠	5件
プロテカジン	4件
ファモチジン	1件
酸化マグネシウム	1件
ゾピラックス眼軟膏	2件

■ 結果

ヘパロック追加後点滴に対するオールバリエーションはなし。

リンデロン内服処方5件・プロテカジン内服処方4件あり。症状の程度により処方されており追加はせず。入院期間もほぼ適応期間内であり変更はなし。

今後の課題

1. スタッフへの周知の徹底と教育

【病棟での対策】

- ① 毎月の監査後各自で結果を確認する
- ② 評価もれの多いスタッフへは直接声掛けをし意識付けを促す
- ③ 評価や入力で分からない場合はクリニカルパス委員へ確認する

【病院での対策】

全看護師に対するクリニカルパスに関する研修参加を促す

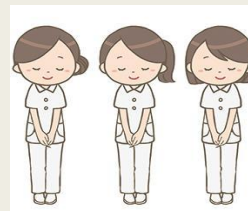
- ① 院内パス大会への参加（紙上・WEBの活用）
- ② クリニカルパス検討会が行うパスに関する勉強会に参加

2. パス専任の人員配置により、チェック機能を高める

3. バリエーションを収集・分析の推進



質の高い医療の提供を行う



ご清聴ありがとうございました。

